

タニタの海上コンテナラウンドユース 取り組みについて

2015年2月6日

(株)タニタ 国際物流管理室

横山九一

会社名：株式会社タニタ

本社：東京都板橋区前野町1-14-2

創業：1923年3月

創立：1944年1月

代表取締役：谷田千里

資本金：50,000万円

社員数：2,200人(グループ、2014年3月現在)

**事業内容：家庭用・業務用計測計量機器(体組成計、体脂肪計、
体重計、クッキングスケール、歩数計、タイマー、電子塩分計、
活動量計、血圧計、脈拍計、デジタルカロリースケール、
携帯型デジタル尿糖計、温湿度計)などの製造・販売**

Agenda

- ◆ **弊社の事業内容**
- ◆ **タニタの海上コンテナラウンドユースへの取り組み**
- ◆ **弊社製品及び部品の日本国内到着迄の流れ**
- ◆ **JR貨物ターミナル及びインランドデポの様子**
- ◆ **海上コンテナのマッチングの問題点と課題**

「健康をはかる」さまざまな商品・サービスを提供

〔健康計測機器〕

カロリズム
CALORISM®

歩数計

InnerScan
インナースキャン

sleepscan™

携帯型デジタル尿糖計

ユーチェック

クッキングスケール

血圧計

〔健康サービス〕

タニタ健康くらぶ

タニタの健康応援ネット

からだカルテ

FITS ME®
for women

HealthPlanet
ヘルスプラネット

丸の内 タニタ食堂

「健康をはかる」から「健康をつくる」へ

タニタの海上コンテナラウンドユースへの 取り組み

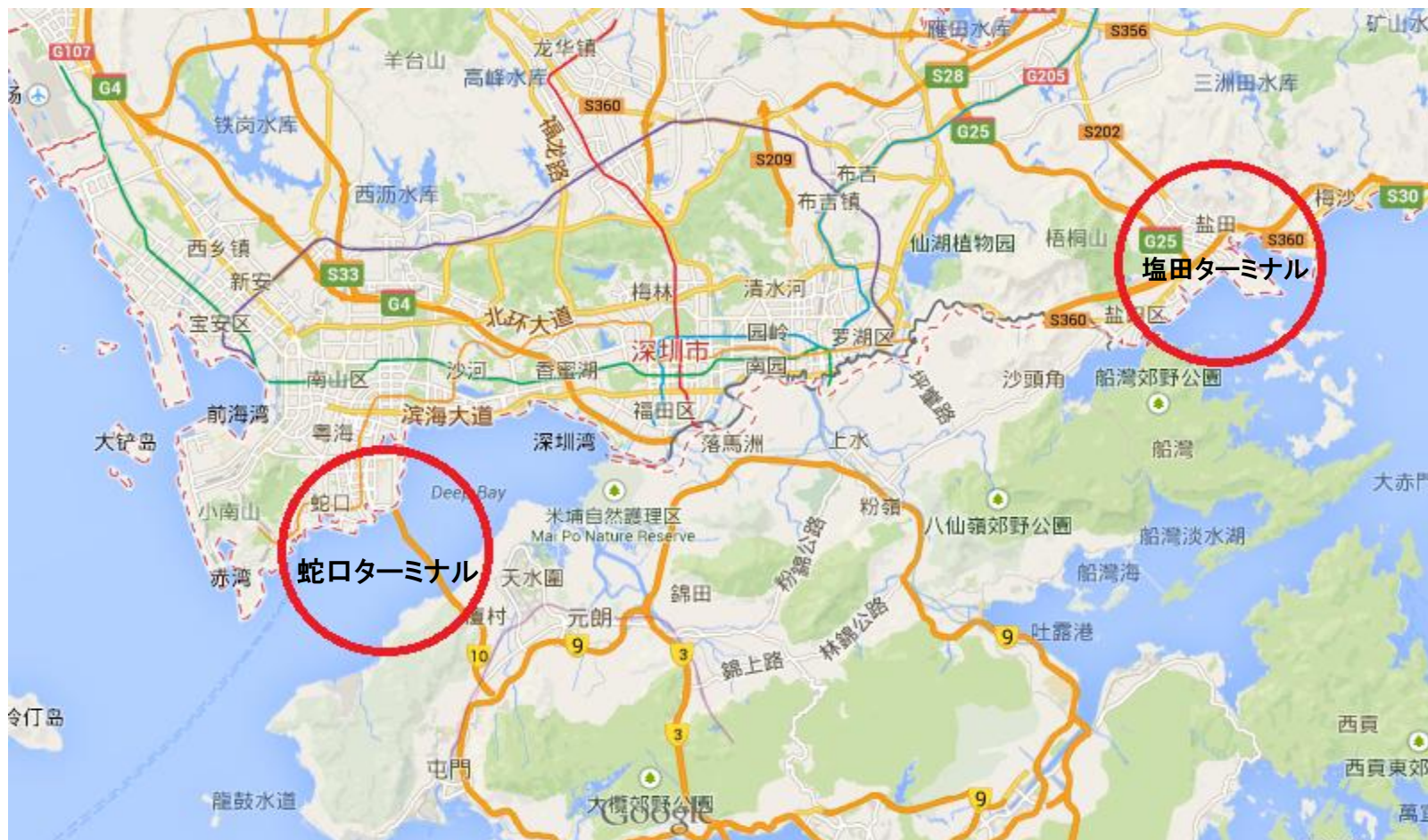
- ・1997年4月NP0エスコットの協力による海上コンテナの新潟インランドデポでのラウンドユース開始
- ・2005年1月OICT(太田国際)でのラウンドユース開始
- ・2007年4月OOCL山形インランドデポでのラウンドユース開始
- ・2010年3月JR貨物盛岡ICD利用でのラウンドユース開始
- ・2013年10月JR貨物新潟貨物駅利用でのラウンドユース開始

弊社中国(東莞)工場でのバンニング状況

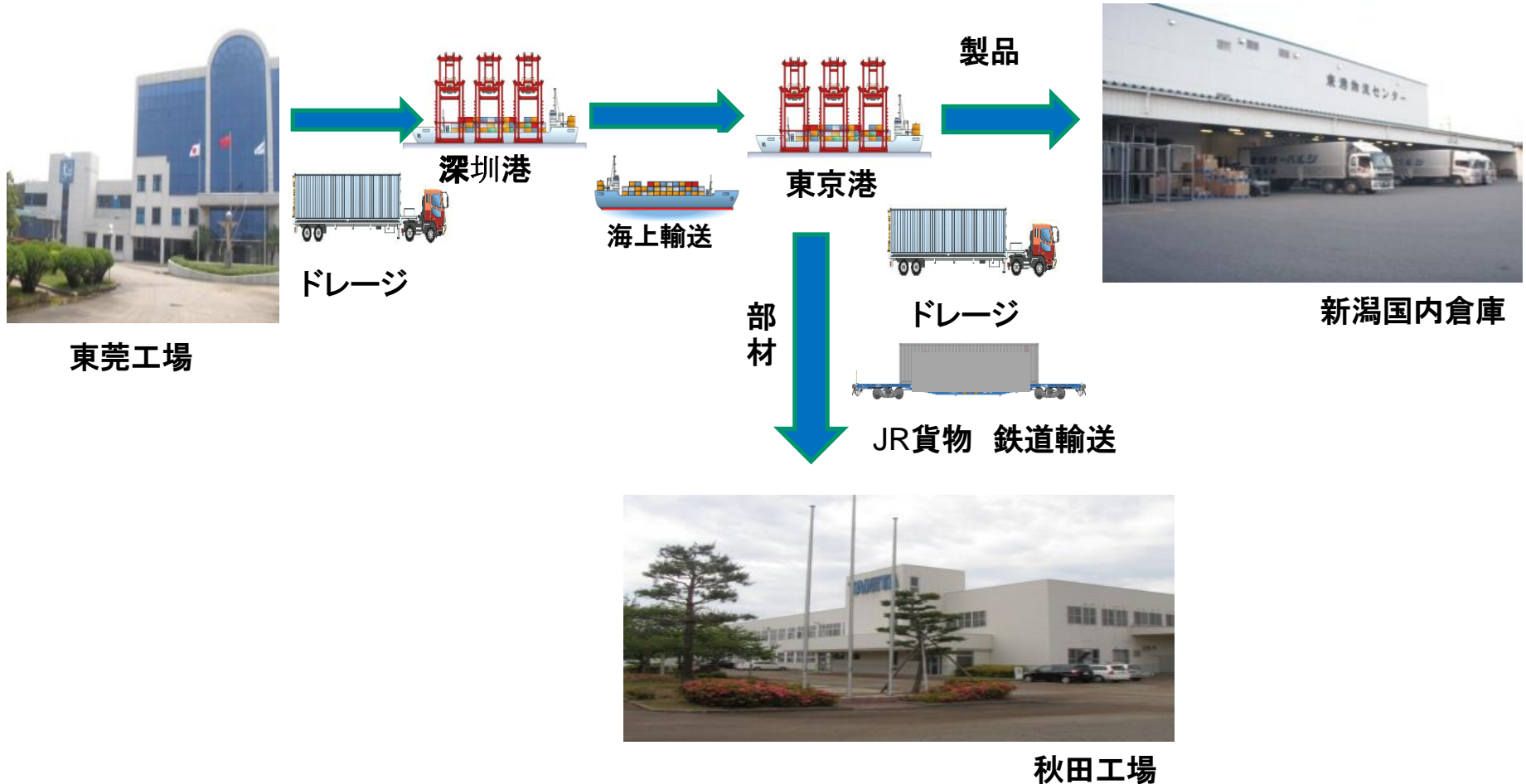


社内規定の海上コンテナチェックリストに基づきコンテナ確認

日本向けは深圳港(蛇口、塩田)より船積される

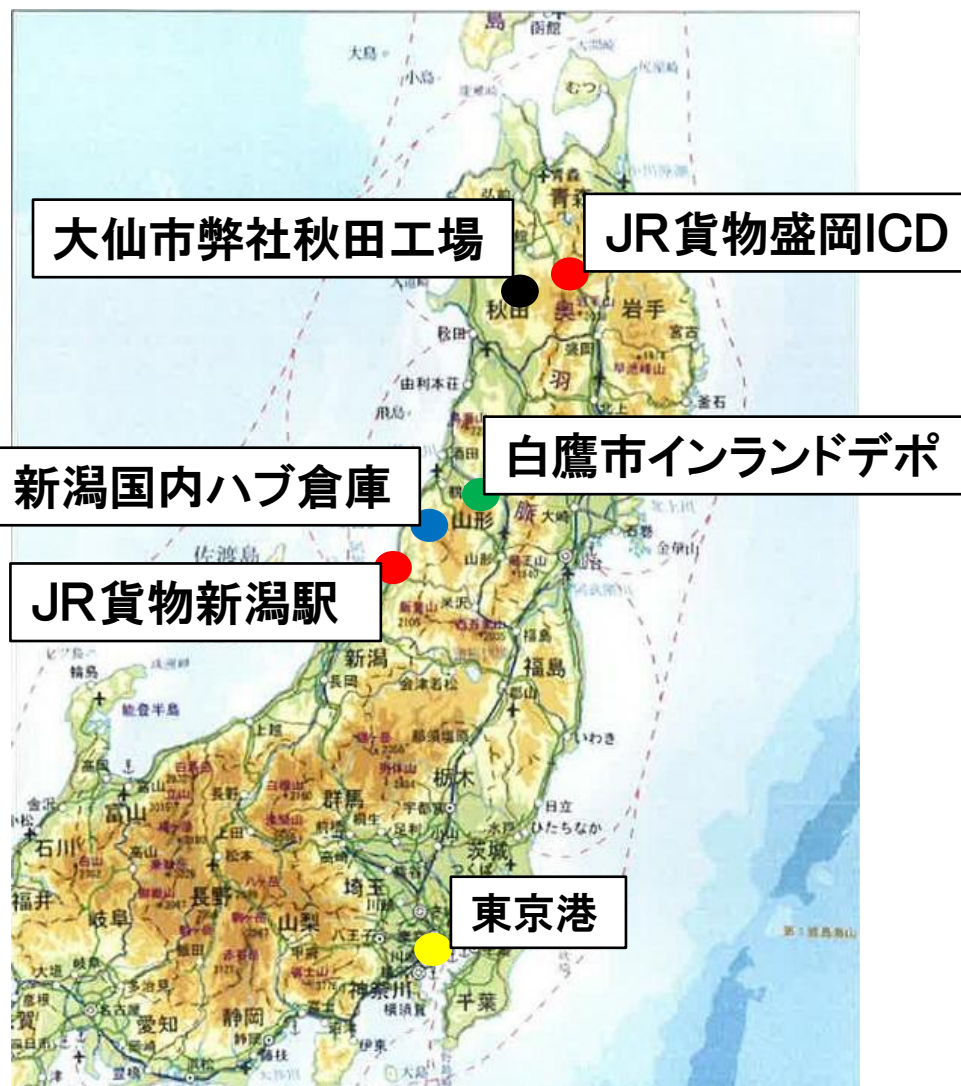


輸入海上コンテナの流れ



製品は毎週新潟倉庫への陸送とJR貨物で、部材はJR貨物盛岡IDC経由で陸送弊社秋田工場へ全てコンテナ単位で輸送し、空コンテナは全て盛岡IDCへ返却される

関連施設の位置関係



JR貨物 東京ターミナル駅（太田区東海）



新潟向け弊社利用海上コンテナの積み込み状況

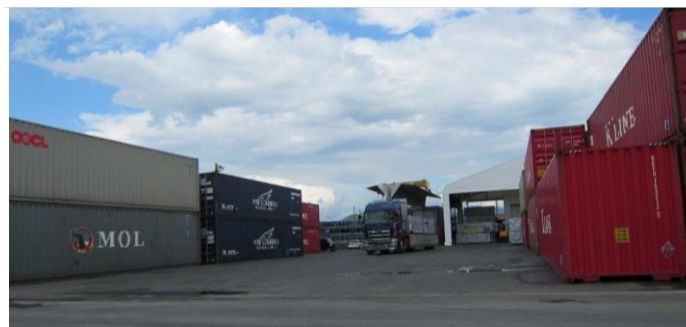
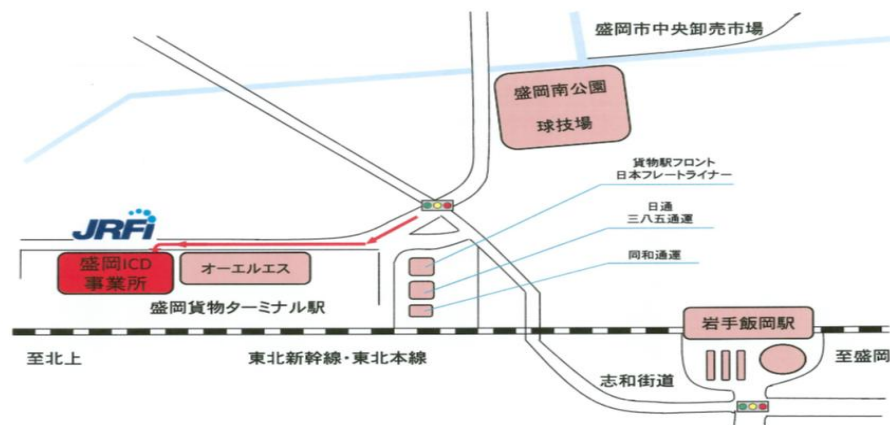
写真提供 JR貨物

JR貨物新潟貨物駅(新潟市)



JR貨物 新潟貨物駅での弊社海上コンテナ積卸し状況

JR貨物盛岡貨物ターミナル駅(盛岡市)



弊社秋田工場向け部品コンテナは全て盛岡IDC経由

写真提供 JR貨物

山形インランドデポ(山形県白鷹市)



新潟からのコンテナは全てこちらに返却され
輸出とのマッチング率は粗100%

コンテナーマッチングの問題点と課題

- ・全体的な認知度の低さと内容の不明確さの解消が必要
- ・船社選択肢の少なさによる普及率の低さ
- ・供給側の空コンテナー品質問題
- ・コンテナーマッチングのコーディネイター(調整役)が必要
- ・各港の後背地的利用での内陸インランドデポの整備拡大
- ・JR貨物輸送スペースキャパ問題
- ・輸送業者の配車を考慮した輸送体制の構築
- ・コンテナーマッチングに関するシステムの構築
- ・コンテナーマッチングの成約に関する補助金の助成が必要
- ・意見交換会、セミナー、研究会などによる啓蒙活動が必要

以上 ご清聴ありがとうございました。